



「デュポン™ プライベートコレクション」シリーズの中でも、透明感のあるベースに明るい茶系の模様を流した天然石調カラーのウィッチヘーゼルで製作された「アムウェイ・プラザ大阪」のカウンター。「東京にあるアムウェイ・プラザでも、レジカウンター回りにデュポン™ コーリアン®を使用しているのですが、数年経ってみて、そのメンテナンス性の良さを実感しています」と矢島氏。常に多くの来場者がある店舗だけに、耐久性も素材選びの重要ポイントだった。

上質と個性を求めるカスタマーを 光の演出で出迎える

◆ アムウェイ・プラザ大阪

大阪市の中心部を縦断する御堂筋は、世界的ブランドが多く出店するブランド通りだ。その一画にある「アムウェイ・プラザ大阪」が、2013年10月にリニューアルオープン。通りを往く人も思わず足を止める、洗練された店舗が誕生した。

「これまでのアムウェイ・プラザ大阪は、年間約46万人に利用されているにもかかわらず、面積が小さく、デザインも10数年前の雰囲気でした。リニューアルにあたっては、私どものプレステージな製品にふさわしい店舗という希望がありました」と話してくださったのは、日本アムウェイ合同会社の河合浩一氏。

店内に入ると真っ先に視界に入るのが、デュポン™ コーリアン®でつくられたカウンターだ。同社の矢島正嗣氏は、次のように説明してくださった。「会社の顔としてふさわしく、お客様をきちんとお迎えできるカウンターとなるよう、高級感を保ちつつも、どなたにも入りやすいと感じていただけるデザインにしたいと考えていました」。そこで、提案されたのが、デュポン™ コーリアン®の中でも、洗練された上品な美しさが特徴の「デュポン™ プライ

ベートコレクション」シリーズ。その中でも、透光性の優れたウィッチヘーゼルを使用したカウンターだった。「石のような重厚感があるのに、透光させると表情が一変します。その意外性は、個性的なものを求める私どものお客様の感性にもぴったりでした」と矢島氏。

また、矢島氏は、デュポン™ コーリアン®の曲線を表現できる加工性やメンテナンス性なども評価されていて、全国7カ所にあるプラザの別店舗でも採り入れていきたいと語ってくださった。

カウンター内部のLEDライトが点灯すると、全体が光るだけでなく、ランダムに走るラインが浮かび上がるという特殊な加工を手がけたのは、マール建材株式会社だ。「ラインの部分は裏面から彫り込みを入れていきます。いただいた図面から数種類のサンプルを作成し、お施主様に具体的なイメージを掴んでいただけるよう配慮しました」と同社の中西正典社長。きめ細かい対応で製作されたカウンターは、昼と夜とで表情を大きく変え、店舗に華



200種類以上のアイテムを置くショッピングエリア、トライアルエリア、コミュニケーションスペースなどを備える「アムウェイ・プラザ大阪」



矢島 正嗣氏 河合 浩一氏
日本アムウェイ合同会社
河合氏はプラザオペレーション、矢島氏はファシリティ&サービスのご担当。

アムウェイ・プラザ大阪

所在地
大阪府大阪市中央区博労町 3-6-1
御堂筋エスジービル
<http://www.amwayplaza.jp>

床面積
約 379 坪 (3フロア合計)

カウンター寸法
3100mm × 755mm × 750mm

竣工
2013年10月

カウンター製作
マール建材株式会社

〈使用されたデュポン™ コーリアン®〉



ウィッチヘーゼル